

C F T ニュース&息抜き（6月）

全日本コーヒー公正取引協議会（コーヒー公取協）に寄せられた問い合わせなどを、トピック形式で毎月リリースします。参考になれば幸いです。

1. 2023年5月の問合せの傾向

- (1) コーヒーの機能について、Web 上などに認知症予防になるとか、肝臓がんを防ぐ効果があるとかいろいろ記載されているので、当社のコーヒー製品にこれを記載したい、と考えている。注意すべき点があれば教えて欲しい。

⇒ コーヒーの飲用効果について、Web 上や様々なメディアに取り上げられていることは知っています。ただし、これを基に御社の製品にコーヒー機能効果として表示する場合、健康増進法、医薬品医療機器等法、食品表示法及び景品表示法等の関係法令に触れることのないよう、根拠データを持ち、行政機関等より表示根拠を求められれば提出できるようにしなければなりません。Web に載っていたから、雑誌で紹介されていたからでは根拠になりません。このような表示は、根拠データを示せないのであれば、お控えください。

- (2) ブレンドコーヒーをクイズ形式で行いたいと考えている。ブレンドコーヒーの使用コーヒー豆を購入者に当ててもらおうもので、コーヒー豆生産国名は一括表示に記載せず、購入者が購入する容器包装に生豆生産国名を記載した紙を封入して対応するものである。これは問題か。

⇒ ブレンドコーヒーに使用されている豆の生産国を消費者が飲んで当てる、という発想はわかりますが、コーヒー好きの消費者はコーヒー生産国を確認して購入していると考えますので、一括表示にはコーヒー生豆生産国名を記載してください。

食品表示基準の Q&A では一定の条件をクリアすれば原料を「輸入」と

記載することは認められていますが、日本国政府は国際コーヒー機関（ICO）に加盟しており、日本に輸入されるコーヒー豆はICOによる生産国別のコード番号が記されているので、コーヒー生豆生産国名が分かるようになっています。コーヒー製品にはコーヒー生豆生産国名の記載をお願いします。

2. アイスコーヒーのカップについて

暑い夏、地下鉄を出るとついCVSでアイスコーヒーを購入する。飲み終わったカップは十分使用可能だが、これをリユース（再利用）と称してCVSへ持ちこむことははばかれる。

吾妻鏡の奥州合戦（文治5（1189）年9—10月）十月大の一日の話に以下の話題が記されている。

頼朝は毎日の御膳や盃酒について日に三度行ったが最後まで庶民には負担をかけなかった、とのこと。その後続く文章に、「河野四郎道信は土器（かわらけ）を持参し食事のたびにこれを使った」とある。CVSのカップのリユースは、850年後の我々の課題である。

CFT子は、河野道信が土器（かわらけ）を大事に繰り返し使用したことに関心がある。河野四郎道信は伊予国の有力な武士で水軍を率いた。孫は踊念仏（おどりねんぶつ）の祖一遍上人である。

奥州平泉の藤原三代の邸宅跡からは宴会に用いたと思われる土器（かわらけ）が大量に発掘され、土器（かわらけ）は使い捨てにされていたようである。河野四郎道信は勿体ない精神の武士で、土器（かわらけ）だからということで使える間は廃棄しなかったのである。ESG活動でグリーンウォッシュが問題になる昨今、一人の武士が真摯に周りの負担が少なくなる行動をしていたのだ。

（参考）吾妻鏡4（五味文彦・本郷和人編 吉川弘文館）